

3 生活・環境

施策名	No	実施計画事業名称	総合戦略	国土強靱化	担当課
3-1 快適で魅力的な都市空間の創造	1	大竹駅周辺整備事業			都市計画課
	2	小方地区のまちづくり事業			企画財政課 土木課 都市計画課
	3	駅前油見線道路改築事業			都市計画課
3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造	1	国道及び高規格道路の総合整備事業（国道等整備促進事業）			監理課
	2(1)	道路・橋りょう維持事業			土木課
	2(2)	橋りょう長寿命化事業			土木課
	3	道路・橋りょう新設、改良事業			土木課
3-3 生活を支える公共交通の充実	1	地域公共交通整備事業			自治振興課
3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備	1	港湾施設管理事業			土木課
	2	漁港施設維持管理事業			土木課
3-5 住みよさと安心を生む住宅政策	1	市営住宅長寿命化事業(平屋住宅解体事業)			都市計画課
	2	住宅改修等補助事業			都市計画課
	3	空家対策事業			都市計画課 企画財政課
3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備	1	公園緑地維持管理事業			都市計画課
	2	晴海臨海公園整備事業			都市計画課
	3	穂仁原地区水辺の広場整備事業			土木課 生涯学習課 自治振興課
3-7 暮らしを支える上下水道の整備	1	公共下水道事業（建設改良事業）			上下水道局
	2	し尿処理場整備事業（次期し尿受入施設の整備）			環境整備課 上下水道局
	3	上水道事業（建設改良事業）			上下水道局

施策名	No	実施計画事業名称	総合戦略	国土強靱化	担当課
3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり	1	ごみ減量化・資源化促進事業			環境整備課
	2(1)	環境学習事業			環境整備課
	2(2)	環境監視指導事業			環境整備課
	3	環境衛生・美化推進事業(環境衛生推進事業)			環境整備課
	4	環境衛生・美化推進事業(地域不法投棄対策事業)			環境整備課
	5(1)	ひろしまの森づくり事業			産業振興課
	5(2)	森林環境税関連森林整備事業			産業振興課
3-9 生活環境に配慮した墓地の管理	6	治山事業			産業振興課
	1	市営墓地維持管理事業			環境整備課

【3-1 快適で魅力的な都市空間の創造】



4年間で実現したい姿		大竹駅の整備や小方地区のまちづくり事業の進捗など、にぎわいや暮らしの拠点づくりが進み、「持続可能で魅力的なまちづくり」が進められています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 計画期間内での整備完了を目指します。大竹駅の整備が進むと、交通結節機能が向上します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹駅の整備率 (事業費ベース)			23.4%	33.3%	44.4%			100%
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 具体的な事業化に向けて取り組むことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小方まちづくり事業の整備完了面積			0%	0%	0%			10%
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	大竹駅周辺整備事業	まち	A-1②、B-4①、C-2①、E-3②、F-4②			都市計画課		
2	小方地区のまちづくり事業	まち				企画財政課 監理課 土木課 都市計画課		
3	駅前油見線道路改築事業	まち	B-1④、B-2①、B-6②、E-1②、E-3①②、F-4①②			都市計画課		

[3-1 快適で魅力的な都市空間の創造]

		担当課				
		都市計画課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	大竹駅周辺整備事業					
根拠法令等	—					
関連する計画	大竹駅周辺整備新構想、大竹駅周辺地区バリアフリー基本構想					
取組の方針		事業の概要				
<p>●自由通路及び橋上駅舎は令和4(2022)年度末、東口交通広場は令和5(2023)年度末、西口駅前広場は令和6(2024)年度末の完成をめざして整備を進めます。</p>		<p>○JR山陽本線で分断されている東西地区を自由通路で結び、駅舎の橋上化や東西駅前広場を一体的に整備・バリアフリー化することで、交通結節点の強化、駅へのアクセスや回遊性を向上させるとともに、駅周辺の活性化に取り組みます。</p>				
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	611,916	913,684	2,247,616	892,661	223,000	
財源内訳	国 県 費	219,543	363,717	965,286	407,525	106,150
	地 方 債	163,800	279,300	504,700	357,400	未定
	そ の 他	68,744	167,921		127,700	
	一 般 財 源	159,829	102,746	777,630	36	116,850
事業指標	大竹駅の整備率(事業費ベース)					
目 標 値		46.0%	83.0%	96.0%	100.0%	
実 績 値	33.3%	44.4%				
取 組 内 容	<p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■西口駅前広場仮設ロータリーの共用開始 ■駅舎・自由通路の杭基礎工事着手 ■物件および借家人補償契約を締結 ■自由通路用地の売買契約を締結 ■大竹駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定 ■大竹駅東西広場詳細設計を完了 	<p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■鉄道事業者と年度協定を締結 ■駅舎・自由通路の鉄骨工事に着手 ■大竹駅周辺地区の無電柱化検討業務に着手 ■大竹市無電柱化推進計画を策定 	<p>・次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■鉄道事業者と年度協定を締結 ■鉄道事業者と西口駅前広場造成協定を締結 ■鉄道事業者と自由通路運営管理協定を締結 ■駅舎・自由通路の内部工事に着手 ■駅舎・自由通路の供用開始 ■東口交通広場の暫定供用 ■市道油見新町1号線の道路拡幅・無電柱化工事着手予定 ■物件および借家人補償契約締結 	<p>・次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■鉄道事業者との年度協定を締結 ■東口交通広場の工事着手予定 ■既存駅舎および跨線橋の解体予定 ■西口駅前広場のロータリー工事着手予定 ■東口側トイレ整備工事着手予定 ■西口駅前広場用地の売買契約予定 	<p>・次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■西口駅前広場の交流広場工事着手予定 ■鉄道事業者と西口駅前広場運営管理協定を締結予定 	

【3-1 快適で魅力的な都市空間の創造】

No.		事業名		担当課		
				総合戦略	国土強靱化	
2		小方地区のまちづくり事業				
根拠法令等		—				
関連する計画		小方地区のまちづくり基本構想				
取組の方針			事業の概要			
<p>●各ゾーンの事業化の時期を伺いながら準備作業を進めます。 ●アクセス道の整備に向けて、跡地利用を決定し、国道2号に関する公安委員会との交差点協議により交通導線を決定します。 ●「小方まちづくり基本構想」の核となる小方新駅の設置に向けて、地元や関係機関と協議を進めます。</p>			<p>○JR新駅設置を前提とし、晴海臨海公園、亀居公園、小方港などの周辺施設との連動による小方小・中学校跡地及び市民プール跡地の有効活用を進め、市全体の魅力を高めます。 ○平成29年3月に「小方地区のまちづくり基本構想」を策定し、対象エリアの各ゾーンの活用方策を示すとともに、「にぎわい交流ゾーン」(小方中学校跡地)の事業化に向けて「立地検討業務」を実施しました。令和4年4月に、市役所敷地内に「にじいろこども園」(認定こども園及び子育て支援センター)が整備されたことなどに伴い、令和4年11月に基本構想を一部見直し、小方小・中学校跡地及び市民プール跡地を「居住・にぎわい交流(レクリエーション)ゾーン」(総面積47,072.92㎡)として新たに設定したことから、当該ゾーンの活用用途の具体化に向けた取組を進めます。</p>			
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		0	1,000	8,000	30,000 (うち繰越分)10,000	未定
財源内訳	国	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	1,000	8,000	30,000	
事業指標		居住・にぎわい交流(レクリエーション)ゾーン(小方小・中学校跡地)総面積に対する「活用用途が決定した」割合				
目標値			0	0	100%	(指標と合わせて検討)
実績値		0	0			
取組内容		<p>・小方小・中学校跡地の地籍整理を行いました。そして、民間動向の情報収集や、新駅設置に向け土地区画整理事業の研修、東広島市への現地視察を行いました。</p>	<p>・引き続き小方小・中学校跡地の地籍整理を行いました。 ・当該地区の周辺動向を確認し、新駅設置などを含めて事業の方向性について協議を行いました。 ・小方4号線の道路工事完了し、暫定区間で供用開始しました。</p>	<p>・小方小中学校跡地の活用の幅を広げるため、小方地区のまちづくり基本構想を一部見直しました。 ・小方小学校跡地の地籍整理を行いました。 ・小方4号線の小方ポンプ場付近歩道整備を行っています。完成後、周辺歩道と接続され、歩道動線の安全性、利便性が向上します。 ・事業化に必要な調査及び関係者協議を行っています。 ・小方小・中学校跡地を中心とした地域の用途変更及び地区計画作成業務を発注しました。 ・JR新駅の設置に向け、需要予測などの検討に着手するため、補正予算を計上しました。(※令和5年度に繰り越し)</p>	<p>・居住・にぎわい交流(レクリエーション)ゾーンの活用用途を決定する予定です。 ・当該ゾーンの活用に向けて、令和5年10月を目途に、都市計画変更を行います。 ・アクセス道路となる小方4号線の整備など周辺環境整備を進めます。また、国道2号交差点計画について関係機関との協議、港町3号線の道路排水施設調査を予定しています。 ・引き続き小方新駅の設置に向け、需要予測などを検討します。</p> <p>※令和4年度までは事業指標を小方まちづくり基本構想全体における「事業進捗率」としていましたが、用途の決定により今後の整備スケジュールなどが決定するため、指標を変更しました。</p>	<p>・令和5年度に決定した居住・にぎわい交流(レクリエーション)ゾーン活用用途の事業化を進めます。 ・アクセス道路となる小方4号線の整備など周辺環境整備を進めます。 ・港町3号線道路詳細設計業務を行う予定です。</p> <p>※令和5年度に事業指標の目標値を達成した場合は、新たな事業指標を設定する予定です。</p>

【3-1 快適で魅力的な都市空間の創造】

		担当課			
		都市計画課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
3	駅前油見線道路改築事業				
根拠法令等	—				
関連する計画	—				
取組の方針		事業の概要			
<p>●大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど住みやすく利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するための環境整備を進めます。</p>		<p>○都市計画道路「駅前油見線」(W=16m L=約150m)を整備します。令和4年度に地形測量を行い、令和5年度に予備設計、令和6年度に都市計画の変更、事業認可、令和7年度に実施設計及び用地測量、令和8年度に補償調査、令和10年度にかけて用地買収を行い、令和11年度に工事着手、令和13年度に完成予定です。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	—	—	3,000	7,500	2,000
財源内訳	国 県 費	—	0	0	0
	地 方 債	—	0	0	0
	そ の 他	—	0	7,500	0
	一 般 財 源	—	3,000	0	2,000
事業指標	駅前油見線道路改築事業整備率(事業費ベース)				
目標値			—	2%	3%
実績値					
取組内容			・地形測量を行いました。	・道路の予備設計を行います。	・予備設計を基に都市計画の変更を行う予定です。 ・都市計画道路事業として行うために、事業認可申請を行う予定です。

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

4年間で実現したい姿		道路、橋りょう、トンネルなどの整備・更新・修繕などが計画的に行われ、安全で利便性の高い道路環境が保たれています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 計画的に補修を行うことで、維持管理コストを抑えながら安全な通行を確保することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
健全性が保たれている橋りょうの割合			79%	79%	77%			80%
実施計画事業		総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課		
1	国道及び高規格道路の総合整備事業 (国道等整備促進事業)		B-1④、B-2①、B-6②、 E-1②、E-3①、F-4①			監理課		
2(1)	道路・橋りょう維持事業		E-3②、F-4②			土木課		
2(2)	橋りょう長寿命化事業		B-1④、B-2①、B-6②、 E-1②、E-3①②、F-4①②			土木課		
3	道路・橋りょう新設、改良事業		B-1④、B-2①、B-6②、 E-1②、E-3①②、F-4①②			土木課		

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

		担当課			
		監理課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
1	国道及び高規格道路の総合整備事業(国道等整備促進事業)				
根拠法令等	—				
関連する計画	—				
取組の方針		事業の概要			
<p>●早期の完成に向けて地元の協力を得るとともに、事業主体である国や県への要望活動を行います。</p>		<p>○国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、関係する近隣自治体と協議会や期成同盟会を組織し、国・県などに切れ目のない要望活動を行います。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	242	162	122	262	262
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	242	162	122	262
事業指標	岩国大竹道路事業に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)				
目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	72.0%	81.0%			
取組内容	<p>・国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、協議会や期成同盟会を組織し、国・県などに要望活動を行いました。 【国への要望】2回 【県への要望】1回</p> <p>・国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行いました。</p> <p>・国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行いました。</p> <p>・国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行います。</p>				

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

		担当課				
		土木課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2(1)	道路・橋りょう維持事業					
根拠法令等	—					
関連する計画	舗装の個別施設計画					
取組の方針			事業の概要			
<p>●5年に1度の定期点検と診断結果の分析により、メンテナンスサイクルを構築しながら、老朽化が進む橋りょうトンネルを計画的に改修・保全します。</p>			<p>○計画的な舗装補修及び、適宜必要に応じた道路施設の維持修繕を行います。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	96,299	114,366	72,160	163,798	125,398	
財源内訳	国 県 費	26,238	29,160	28,920	31,120	28,920
	地 方 債	27,800	72,700	24,200	86,800	24,200
	そ の 他	0	0	7,588	17,700	0
	一 般 財 源	42,261	12,506	11,452	28,178	72,278
事業指標	補修が必要な道路のうち補修が完了した箇所数(累計)					
目 標 値		12箇所	15箇所	18箇所	未定	
実 績 値	8箇所	13箇所				
取 組 内 容	<p>・舗装の個別施設計画に基づき舗装補修を行いました。 【補修箇所】1箇所(新町1丁目)</p>	<p>・舗装の個別施設計画に基づき舗装補修を行いました。 【補修箇所】5箇所(港町2丁目ほか)</p>	<p>・舗装の個別施設計画に基づき2箇所の舗装補修を行いました。 【補修箇所】2箇所(新町2丁目、玖波4丁目ほか) ・令和5年度以降の計画について、個別施設計画の見直しを行います。</p>	<p>・玖波青木線ほか2路線の舗装補修を予定しています。</p>	※未定	

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

		担当課				
		土木課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2(2)	橋りょう長寿命化事業					
根拠法令等		—				
関連する計画		大竹市橋梁長寿命化修繕計画、大竹市橋梁維持管理計画				
取組の方針		事業の概要				
<p>●5年に1度の定期点検と診断結果の分析により、メンテナンスサイクルを構築しながら、老朽化が進む橋りょうトンネルを計画的に改修・保全します。</p>		<p>○長寿命化修繕計画等に基づき、道路施設の保全を行います。</p>				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		29,470 (うち繰越分)4,180	56,824 (うち繰越分)24,000	58,475 (うち繰越分)4,000	175,565 (うち繰越分)76,565	318,500
財源内訳	国 県 費	15,414 (うち繰越分)1,970	30,250 (うち繰越分)13,200	32,161 (うち繰越分)2,200	92,161 (うち繰越分)42,111	175,175
	地 方 債	7,000	0	21,819	68,804	0
	そ の 他	810	0	0	0	0
	一 般 財 源	6,246	26,574	4,495	14,600	143,325
事業指標 補修が必要な橋りょう・トンネルなどのうち補修が完了した箇所数(累計)						
目 標 値			9箇所	12箇所	16箇所	19箇所
実 績 値		8箇所	9箇所			
取 組 内 容		・橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事を行いました。 【補修工事箇所】2橋(玖波4～5丁目、東栄1丁目)	・橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事を行いました。 【補修工事箇所】1橋(玖波5～6丁目)	・橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行っています。 【補修工事箇所】3橋(東栄1丁目、木野1丁目、玖波5丁目) ※うち2橋は、令和5年度にかけて補修予定です。	・橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。6橋の補修工事を予定しています。	・橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。JR山陽本線を跨ぐ城山陸橋の補修工事に着手するほか2橋の補修工事を予定しています。

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

		担当課				
		土木課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
3	道路・橋りょう新設、改良事業					
根拠法令等		—				
関連する計画		—				
取組の方針			事業の概要			
<p>●地域のニーズや道路の利用状況などを把握しながら、安全に課題がある箇所や狭あい道路の改善など、計画的・効果的な道路整備を行います。</p>			<p>○狭あい道路の利用状況などを把握した上で、安心安全に利用できる道路整備を行います。</p>			
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		213,005 (うち繰越分)101,820	166,056 (うち繰越分)80,500	64,257 (うち繰越分)11,500	60,387 (うち繰越分)3,000	85,000
財源内訳	国県費	87,920	21,150 (うち繰越分)2,150	16,794	10,175	0
	地方債	71,500	26,300	0	8,300	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	53,585	118,606	47,463	41,912	85,000
事業指標		安全に課題がある箇所や狭あい道路を改善した箇所数(累計)				
目標値		5箇所	11箇所	11箇所	12箇所	
実績値	3箇所	6箇所				
取組内容		<p>・安全に課題のある箇所の道路整備を実施しました。 【令和元年度～令和2年度】青木踏切拡幅改良を実施しました。 【令和2年度】用地を買収し大竹郵便局前交差点の歩道整備を実施しました。</p>	<p>・安全に課題のある次の箇所の道路整備を実施しました。 ■小方4号線道路工事 ■松ヶ原3号線の曲線部の用地買収地の改良工事 ■恵川橋歩道整備</p>	<p>・安全に課題のある次の箇所の道路整備や局部解消工事を実施しています。 ■小方4号線道路工事 ■油見15号線(隅切り工事) ■南栄下白石線(交差点部の歩道拡幅) ■小方1号線(歩道改良) ■立戸山手線(取付道整備)</p>	<p>・安全に課題のある箇所の道路整備を実施する予定です。 ・南栄下白石線の歩道整備を予定しています。</p>	<p>・安全に課題のある箇所の道路整備を実施する予定です。 ・令和5年度に引き続き、南栄下白石線の歩道整備を予定しています。</p>

【3-3 生活を支える公共交通の充実】



4年間で実現したい姿		「住民自らが創り・守り・育てる」便利で持続可能な地域の公共交通が整備され、市民の移動を支えています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 半数以上を目指します。将来に向けて地域の移動を支え続ける意識を持つことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「目的地までの移動がしやすいまちだ」と答えた人の割合			58.4%	56.5%	46.2%			50%以上
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	地域公共交通整備事業	まち				自治振興課		

【3-3 生活を支える公共交通の充実】

		担当課				
		自治振興課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	地域公共交通整備事業					
根拠法令等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					
関連する計画	大竹市地域公共交通計画					
取組の方針			事業の概要			
●「地域公共交通計画」に基づき、住民と交通事業者と市が協議し、今後利用する可能性のある人のニーズなども踏まえて運行内容の見直し、改善を行います。			○市内幹線交通、支線交通及び廃止路線代替バスを運行します。辺地タクシーの赤字を補助します。利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行います。			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	47,220	48,422	48,505	57,100	96,257	
財源内訳	国県費	1,009	1,008	1,008	2,015	1,015
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	20,645	20,408	22,992	26,440	21,486
	一般財源	25,566	27,006	24,505	28,645	73,756
事業指標	大竹・栗谷線・坂上線の年間利用者数					
目標値		16,000人	16,000人	16,000人	未定	
実績値	16,715人	16,233人				
取組内容	・市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行しました。	・市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行しました。	・引き続き、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行します。令和6年度以降の新たな公共交通計画策定に向けて、現行の計画の維持や見直しを検討するため、課題整理やニーズ調査し、今後の方向性を検討します。	・引き続き、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行します。 ・現行計画の維持だけでなく、運行形態などを検討する新たな公共交通計画を策定します。	・令和6年度以降の新たな公共交通計画に基づき、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援などを行います。	
事業指標	こいこいバスと支線交通の年間利用者数					
目標値		108,000人	117,000人	118,000人	118,000人	
実績値	106,351人	104,269人				
取組内容	・幹線バス(こいこいバス)と支線交通(三ツ石地区乗合タクシー、ひまわりタクシー、湯舟のりあいタクシー、栄ぐるりんタクシー、あじさいタクシー)を運行しました。 ・谷和・広原地区辺地タクシーの運行経費の赤字分を補助しました。 ・バスや乗合タクシーなど市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行いました。	・幹線バス(こいこいバス)と支線交通(三ツ石地区乗合タクシー、ひまわりタクシー、湯舟のりあいタクシー、栄ぐるりんタクシー)を運行しました。 ・谷和・広原地区辺地タクシーの運行経費の赤字分を補助しました。 ・バスや乗合タクシーなど市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行いました。	・引き続き、こいこいバスや支線交通の運行などを行います。 ・令和6年度以降の新たな公共交通計画策定に向けて、ニーズや実態の把握・関係各所への聞き取り・取りまとめ・分析を行います。	・引き続き、こいこいバスや支線交通の運行などを行います。 ・現行計画の維持や見直しをします。 ・これまでに行った調査・分析結果を踏まえた新たな公共交通計画を策定します。	・令和6年度以降の新たな公共交通計画に基づき、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援などを行います。 ・13年目を迎えるこいこいバス車両の状態を踏まえ、必要に応じて更新を行います。	

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

4年間で実現したい姿		港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 大竹港の整備によって利便性が高まり、取扱貨物量が増加すると、市内産業の活性化に繋がります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹港で取り扱う貨物の量			145万t	123万t	140万t			160万t
実施計画事業		総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課		
1	港湾施設管理事業	しごと	B-1④、B-2①、B-6②、 E-1②、E-3①、F-4①			土木課		
2	漁港施設維持管理事業	しごと	B-1③④、B-2①、B-5②、 B-6②、E-1②、E-3①、 E-4①、F-4①			土木課		

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

		担当課				
		土木課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	港湾施設管理事業					
根拠法令等		地域再生法				
関連する計画		地域再生計画(広島湾の歴史遺産と海の幸を世界に向けて発信するみなとづくり計画)				
取組の方針		事業の概要				
<p>●大竹港東栄地区コンテナヤードの拡張など、利用実態に合わせた施設と管理体制の整備について、関係機関と協議しながら取り組みます。</p> <p>●物流の円滑化を目的とする国道2号を結ぶアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。</p>		<p>○大竹港の利用促進のため、港湾施設の適正な維持管理を行い、物流の拡充や渋滞緩和のため、国道2号栄橋北詰交差点から大竹港のアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。</p>				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		37,264	35,587	33,383	57,080	45,647
財源内訳	国 県 費	1,533	1,613	1,801	7,565	7,250
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	35,731	33,974	31,582	30	38,397
	一 般 財 源	0	0	0	49,485	0
事業指標		アクセス道路に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)				
目 標 値			0%	未定	未定	未定
実 績 値		0%	0%			
取 組 内 容		<p>・測量調査業務や予備設計業務などを実施し、関係機関との協議を整えました。</p>	<p>・詳細設計業務を行いました。</p> <p>※事業指標の目標値は、詳細設計にて事業用地総面積が確定した後(用地境界立会終了後)に、設定する予定です。</p>	<p>・詳細設計完了後、用地測量を行い、用地境界立会などを実施しています。</p> <p>・工事に着手しています。(No50～No52付近)</p>	<p>・用地交渉(買収)を行う予定です。</p> <p>・工事に着手します。(終点～No52付近)</p>	<p>・用地交渉(買収)を行う予定です。</p> <p>・工事に着手します。(No52～No38付近)</p>

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

		担当課				
		土木課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2	漁港施設維持管理事業					
根拠法令等		漁港漁場整備法				
関連する計画		水産物供給基盤機能保全計画				
取組の方針			事業の概要			
<p>●定期点検結果を踏まえた計画的な修繕、更新により、漁港施設を適切に維持管理します。</p>			<p>○漁港漁場整備法に基づき、漁港施設の整備・維持修繕や水域管理などを適切に行い、長寿命化を進めます。</p>			
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		117,721	57,194	20,350	175,600	95,000
財源内訳	国 県 費	59,580	28,720	11,334	98,900	
	地 方 債	40,200	15,300	0	67,400	未定
	そ の 他	0	0	0	0	
	一 般 財 源	17,941	13,174	9,016	9,300	95,000
事業指標		漁港施設で対策が必要な箇所のうち、改修などに着手した箇所数(累計)				
目 標 値		11箇所	12箇所	14箇所	17箇所	
実 績 値	8箇所	11箇所				
取組内容		・阿多田猪子東浮棧橋修繕、玖波漁港浚渫工事を行いました。	・猪子東浮棧橋補修工事、玖波10号物揚場補修工事、玖波漁港照明施設改築更新工事を実施しました。	・猪子西浮棧橋補修工事を実施しています。工事は、令和5年度で完了予定です。	・東1号浮棧橋改築更新工事、猪子西浮棧橋補修工事、玖波3号防波堤測量実施設計業務を実施する予定です。	・猪子西浮防波堤補修工事、本浦西浮棧橋補修工事、玖波3号防波堤補修工事を実施する予定です。

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】



4年間で実現したい姿		住宅の耐震化や空き家の有効活用が進み、安全で良好な住環境が保たれています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 市内の住宅の耐震化が進むことで、災害時の被害を抑制することができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
住宅耐震化率			83.1%	—	—	/	/	92.0%
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 空き家バンクへの登録数が増えることで、空き家の有効活用が期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
空き家バンク登録件数 (累計)			0件	0件	0件	/	/	2件
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	市営住宅長寿命化事業(平屋住宅解体事業)			A-1②、B-4①、C-2①			都市計画課	
2	住宅改修等補助事業	まち	A-1①③、A-4①、G-3①②			都市計画課		
3	空家対策事業	まち	A-1③、G-1①、G-3②			都市計画課 企画財政課		

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】

		担当課			
		都市計画課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
1	市営住宅長寿命化事業(平屋住宅解体事業)				
根拠法令等	公営住宅法				
関連する計画	大竹市営住宅等長寿命化計画				
取組の方針		事業の概要			
<p>●居住者の早期移転を積極的に促し、市営木造平屋住宅の解体を進めます。</p> <p>●解体が完了した市営住宅跡地の利活用を検討します。</p>		<p>○「大竹市営住宅等長寿命化計画」に基づき、団地別・住棟別の改修工事や老朽化した市営木造平屋住宅の解体を行います。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	10,167	0	30,000	30,000	30,000
財源内訳	国県費	4,266	0	11,250	11,250
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,901	0	18,750	18,750
事業指標	市営木造平屋住宅の管理戸数				
目標値		170戸	155戸	130戸	115戸
実績値	177戸	177戸			
取組内容	<p>・老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施しました。飛石住宅及び唐船浜住宅用地については、監理課へ所管替えしました。【解体戸数】9戸(白石)</p>	<p>・老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施予定でしたが、二度の入札不調のため、未実施としました。</p>	<p>・老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施する予定です。(年間15～25戸解体予定)</p> <p>・入居者の退去が完了した油見住宅団地の解体を実施しました。</p>	<p>・老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施する予定です。(年間15～25戸解体予定)</p> <p>※解体予定戸数を見直したため、目標値を上方修正しました。【150戸⇒130戸】</p>	<p>・老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施する予定です。(年間15～25戸解体予定)</p> <p>※解体予定戸数を見直したため、目標値を上方修正しました。【145戸⇒115戸】</p>

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】

No.		事業名	担当課			
			都市計画課			
			総合戦略	国土強靱化		
2		住宅改修等補助事業				
根拠法令等		建築物の耐震改修の促進に関する法律				
関連する計画		大竹市耐震改修促進計画				
取組の方針			事業の概要			
<p>●大竹市耐震改修促進計画に基づき、市内の住宅や多数の者が利用する建築物の耐震化を進めます。</p> <p>●耐震化の重要性を啓発し、耐震診断や耐震改修・住宅リフォーム補助制度の利用を促進します。</p>			<p>○個人住宅の安全と質の向上、定住促進のため、市内居住者又は予定者に対して、住宅改修など各対象工事の費用の一部を補助します。</p>			
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		1,908	3,125	4,070	11,184	11,184
財源内訳	国県費	868	1,439	1,843	5,841	5,841
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,040	1,686	2,227	5,343	5,343
事業指標		リフォーム補助事業の年間申請件数				
目標値			16件	17件	18件	19件
実績値		15件	19件			
取組内容		・15件のリフォーム申請全てに補助金を交付決定しました。	・19件のリフォーム申請全てに補助金を交付決定しました。	・33件のリフォーム申請全てに補助金を交付決定しました。	・リフォーム補助制度の利用促進を行います。	・令和5年度の取組を継続します。
事業指標		住宅改修補助事業の年間申請件数				
目標値			1件	1件	2件	2件
実績値		1件	4件			
取組内容		・次のことを行いました。 ■ブロック塀などの除却：1件	・次のことを行いました。 ■特定空家などの除却：1件 ■ブロック塀などの除却：3件	・次のことを行いました。 ■ブロック塀などの除却：1件 ■耐震診断補助金交付決定：3件	・住宅改修補助制度の利用促進を行います。	・令和5年度の取組を継続します。

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】

担当課	
都市計画課、企画財政課	

No.	事業名	総合戦略	国土強靱化
3	空家対策事業		

根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法
-------	-------------------

関連する計画	大竹市空家等対策計画
--------	------------

取組の方針	事業の概要
<ul style="list-style-type: none"> ●警察と連携し、危険な空き家への対応や危険な空き家にならないための所有者への適切なアドバイスを行います。 ●定住促進の観点から、空き家の有効活用を検討します。 	<p>○平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家などの適正な管理の促進と危険な空き家に対する指導・助言などを行うとともに、可能な範囲で危険な空き家などの除却を促進し、可住地の確保に努めます。</p>

(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	0	1,856	6,716	481	未定	
財源内訳	国 県 費	0	0	3,161	0	
	地 方 債	0	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	0	
	一 般 財 源	0	1,856	3,555	481	

事業指標	空き家に関する年間相談件数				
------	---------------	--	--	--	--

目標値		35件	37件	40件	45件
-----	--	-----	-----	-----	-----

実績値	37件	51件			
-----	-----	-----	--	--	--

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・警察から情報提供のあった空き家について、現地確認を行いました。(123件分) ・空き家に関するパンフレットを作成し、空き家問題に対する啓発を行いました。(令和3年度初旬、広報及び市外家屋所有者へ固定資産税の納付書と合わせ送付。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査で危険空き家候補と判定された市街地の空き家などの再調査を行いました。 ・大竹市空家等対策協議会を開催しました。 ・「大竹市空家等対策計画」の一部を変更しました。 ・特定空家等除却補助事業の利用により、特定空家等を1件除却しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 ・民間事業者と連携し、空家対策ガイドブックを作成します。 ・大竹市空家実態調査の実施を予定しています。(全戸調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 ・広島県司法書士会と連携した、空き家問題に関する啓発活動を行います。 ・令和4年度実施の大竹市空家実態調査の結果を踏まえた、「大竹市空家等対策計画」の改訂を予定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 ・広島司法書士会と連携した、空き家問題に関する啓発活動を行います。
------	--	---	---	--	--

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】



4年間で実現したい姿		市民が安心して公園を利用できています。晴海臨海公園は多様な用途に活用できる魅力的なスポットになっています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 晴海臨海公園は現在多くの利用者でにぎわっています。施設を適切に維持管理するとともに、利用者にとって魅力ある公園となる取組を行うことで、にぎわいを維持します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
晴海臨海公園の利用者数			209,424人	168,892人	99,720人			210,000人
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	公園緑地維持管理事業			A-1②、B-4①、B-8①、C-2①			都市計画課	
2	晴海臨海公園整備事業	まち		A-1②、B-4①、B-8①、C-2①			都市計画課	
3	穂仁原地区水辺の広場整備事業						土木課 生涯学習課 自治振興課	

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】

		担当課				
		都市計画課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	公園緑地維持管理事業					
根拠法令等		都市公園法				
関連する計画		大竹市都市公園長寿命化計画				
取組の方針		事業の概要				
<p>●市民の意見や時代のニーズを反映しつつ、「公園施設長寿命化計画」に基づいた適切な整備・維持管理を行います。</p> <p>●地域住民による維持管理を推進するため、地域の清掃活動などに対して必要な物品の支給を行い、清掃活動が行いやすいよう支援を行います。</p>		<p>○遊具などを点検し適切な整備・維持管理を行います。</p> <p>○公園の美化清掃活動に必要な備品などの購入に対し、自治会へ補助を行います。</p>				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		31,023	29,489	28,998	31,595	31,595
財源内訳	国 県 費	0	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
	一 般 財 源	31,023	29,489	28,998	31,595	31,595
事業指標		公園施設の年間修繕・更新数(長寿命化計画に基づく優先順位に沿った整備)				
目標値		30施設	30施設	30施設	30施設	30施設
実績値	29施設	30施設				
取組内容		・公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行いました。	・公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行いました。	・公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。	・公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。	・公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】

		担当課				
		都市計画課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2	晴海臨海公園整備事業					
根拠法令等	都市公園法					
関連する計画	—					
取組の方針		事業の概要				
<p>●多目的ゾーンの整備を計画的に進めます。運動や憩いの場としてだけでなく、災害時にも利用できるオープンスペースとして整備します。</p>		<p>○平成22年度から第一期整備工事として、多目的グラウンドの南側エリアにテニスコート、球戯場、管理棟、駐車場、便所棟、園路などを、第二期整備工事として、北側・東側エリアに、遊具広場、海辺広場、舗装広場、デイキャンプ場などを整備しました。</p> <p>○令和3年度からは、第三期整備工事(5か年計画)として、多目的グラウンドの西側エリアに、多目的グラウンドの雨水処理のための雨水排水設備の整備や、園路、駐車場、休憩広場等の整備を行います。</p> <p>○また、第三期整備工事の後には、多目的グラウンド施設を充実していきます。</p>				
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	10,416	63,000	104,515	124,400	155,000	
財源内訳	国 県 費	0	60,000	80,520	108,000	150,000
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
	一 般 財 源	10,416	3,000	23,995	16,400	5,000
事業指標	晴海臨海公園の整備率(面積) ※公園区域(全体)に対する整備率					
目 標 値		52%	53%	58%	80%	
実 績 値	51%	52%				
取 組 内 容	<p>・次のことを行いました。</p> <p>■第3期工事の住民説明など</p> <p>※令和2年度の実績値は、事業開始からの累計値です。</p>	<p>・次のことを行いました。</p> <p>■雨水排水施設の整備</p> <p>■園路の整備</p>	<p>・次のことを行います。</p> <p>■雨水排水施設の整備</p> <p>■園路の整備</p> <p>■美術館側の接続歩道整備</p>	<p>・次のことを行います。</p> <p>■雨水排水施設の整備</p> <p>■駐車場の整備</p> <p>■周回園路・植栽等整備</p> <p>※事業指標を、「第三期整備における整備率」から「公園区域(全体)に対する整備率」に変更しています。それに伴い、整備完了までの整備方針を決定の上、事業スケジュール・整備費をあらためて整理したため、目標値を変更しています。</p> <p>(参考)</p> <p>【令和7年度】155,000(千円)</p> <p>周回園路、西側駐車場、多目的グラウンド一部施設整備</p> <p>【令和8年度】130,000(千円)</p> <p>多目的グラウンド施設整備</p>	<p>・次のことを行います。</p> <p>■周回園路</p> <p>■西側駐車場の整備</p> <p>■多目的グラウンド整地</p>	

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】

		担当課			
		土木課、自治振興課、生涯学習課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
3	穂仁原地区水辺の広場整備事業				
根拠法令等	—				
関連する計画	—				
取組の方針		事業の概要			
<p>●「水辺の広場」として整備します。広場の利用については、広く市民などに親しみを持ってもらう空間となるよう、関係部署とも連携していきます。</p> <p>●また、「手すき和紙」や「雛流し」などの伝統文化の保存・継承の場所としても利用を図ります。</p>		<p>○国道186号道路改良事業に伴い、解体された旧穂仁原小学校について、跡地を水辺の広場として整備することで、地元のレクリエーションや伝統文化の継承などの目的も含め、より多くの人が利用できるようにします。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	—	3,955	23,934	16,000	—
財源内訳	国県費	—	0	0	—
	地方債	—	0	0	—
	その他	—	0	0	16,000
	一般財源	—	3,955	23,934	0
事業指標	水辺の広場整備率(事業用地の総面積に対する整備面積の割合)				
目標値	—	—	14%	100%	—
実績値	—	0%	—	—	—
取組内容		・建物の詳細設計業務などを実施しました。	・建築工事、照明工事等を実施しました。	・広場の造成工事、コウゾ畑及び駐車場の整備、バス停設置を予定しています。 ※令和5年度で事業完了予定です。	

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】



4年間で実現したい姿		適切な下水処理が行われ、衛生的な生活環境が維持できています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 総人口に対する汚水処理施設の普及状況を指標としています。衛生的な生活環境を維持するためには、適切な下水処理が行われることが必要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
汚水処理人口普及率			99.1%	99.2%	99.2%	/	/	99.3%
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	公共下水道事業（建設改良事業）	まち	F-3①			上下水道局		
2	し尿処理場整備事業（次期し尿受入施設の整備）					環境整備課 上下水道局		

4年間で実現したい姿		安全で良質な水道水が安定して供給されています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 安定した水道水を提供するためには、水源地からの配水が十分であることだけでなく、無収水量を減らし、各家庭などが使用する水量を確保することが必要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
有収率(配水量に対する有収水量の割合) 【上水】			78.6%	77.8%	75.2%	/	/	86.8%
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
3	上水道事業（建設改良事業）	まち	B-1①、F-2①			上下水道局		

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】

		担当課				
		上下水道局				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	公共下水道事業(建設改良事業)					
根拠法令等		下水道法				
関連する計画		大竹市公共下水道事業経営戦略、大竹市下水道ストックマネジメント計画				
取組の方針		事業の概要				
<p>●生活環境の改善や公共用水域の水質を保全するため、公共下水道への接続率(水洗化率)の向上に取り組みます。</p> <p>●「大竹市公共下水道事業経営戦略」に基づき、下水道施設の効率的・計画的な整備を進めます。</p>		<p>○「大竹市下水道事業経営戦略」や「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。</p>				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		446,013	756,654	1,912,094	649,652	355,867
財源内訳	国 県 費	26,738	329,172	599,928	198,485	81,813
	地 方 債	64,300	301,700	426,500	342,000	101,517
	そ の 他	72,351	90,814	442,880	107,647	10,340
	一 般 財 源	282,624	34,968	442,786	1,520	162,197
事業指標		大竹市下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新率(対象改築設備のうち整備した施設の割合)				
目標値			30.0%	44.0%	72.0%	100%
実績値		1.5%	11.0%			
取組内容		・「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。	・「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。	・「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。	・「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。	・「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】

		担当課				
		環境整備課、上下水道局				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2	し尿処理場整備事業(次期し尿受入施設の整備)					
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関連する計画		大竹市一般廃棄物処理基本計画、社会資本整備総合計画				
取組の方針			事業の概要			
●下水道施設と一体的に運営・管理できる、最も合理的で効率的な処理方式のし尿処理施設を整備します。			し尿及び浄化槽汚泥の処理施設を下水道施設と統合し、共同処理を行うため、新たなし尿受入施設を整備します。			
上下水道局		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(単位：千円)		18,003	21,260	110,000	410,000	398,000
財源内訳	国 県 費	7,000	0	62,691	205,000	199,000
	地 方 債	6,500	16,300	36,400	157,800	153,000
	そ の 他	2,531	4,960	10,881	47,150	45,770
	一 般 財 源	1,972	0	28	50	230
環境整備課		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(単位：千円)		1,972	5,089	26,674	4,205	40,546
財源内訳	国 県 費	0	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	681	2,667	408	4,054
	一 般 財 源	1,972	4,408	24,007	3,797	36,492
事業指標						
次期し尿受入施設の整備進捗率						
目 標 値		7.3%	18.0%	51.0%	81.0%	
実 績 値	1.6%	4.0%				
取 組 内 容	<p>【上下水道局】 ・新受入施設の整備に係る、都市計画及び事業認可などの変更並びに基本設計業務を行いました。</p>	<p>【環境整備課】 ・第2貯留槽の汚泥撤去に係る調査を行い、上澄水の移送を開始しました。</p> <p>【上下水道局】 ・新受入施設の基本設計が完了しました。引き続き詳細設計業務を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 ・解体工事開始前に第2貯留槽に蓄積された汚泥等(上澄水・汚泥)の撤去を行います。</p> <p>・翌年度計画を前倒しし、曝気槽等(曝気槽・最終沈殿槽・汚泥濃縮槽)に蓄積された汚水を水質調査後、第1貯留槽へ移送開始します。</p> <p>【上下水道局】 ・新受入施設の詳細設計業務を完了し、建設工事及び既存受入施設の解体工事を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 ・曝気槽等に蓄積された汚水の移送、汚泥の撤去を実施します。また、汚泥の厚みが薄い関係で検体採取できなかった曝気槽等の汚泥検査と併せ第1貯留槽の汚泥検査を実施します。</p> <p>【上下水道局】 ・新受入施設の建設工事、設備工事及び既存受入施設の解体工事を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 ・年度末から第1貯留槽に蓄積された汚泥の撤去を開始します。※上下水道局の工事が長引いた場合は、翌年度から開始します。</p> <p>【上下水道局】 ・新受入施設の設備工事を一部完了します。引き続き次年度から旧施設の解体場内整備の準備に入ります。</p>	

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】

		担当課				
		上下水道局				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
3	上水道事業(建設改良事業)					
根拠法令等		水道法				
関連する計画		大竹市水道事業経営戦略				
取組の方針		事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ●国、県、関係企業などと連携して水質を保全します。 ●水の安全性を周知するため、水質検査を適宜実施し、結果をホームページなどで公表します。 ●「大竹市水道事業経営戦略」に基づき、老朽化した施設の更新及び耐震化を行います。 		○「大竹市水道事業経営戦略」に基づき、施設・設備の整備・更新や水質保全を行います。				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		125,513	441,600	750,318	320,412	329,383
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	41,700	203,800	163,000	129,000	121,600
	その他	17,202	39,946	51,772	66,132	6,658
	一般財源	66,611	197,854	535,546	125,280	201,125
事業指標		配水管改良を実施した年間箇所数				
目標値		11箇所	5箇所	5箇所	5箇所	
実績値	3箇所	4箇所				
取組内容		・老朽化した配水管の改良工事を行いました。	・老朽化した配水管改良工事を行いました。	・老朽化した配水管改良工事を行います。	・老朽化した配水管改良工事を行います。	・老朽化した配水管改良工事を行います。

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】



4年間で実現したい姿		市民・事業者・関係団体・行政の協働による、4 R(Refuse・Reduce・Reuse・Recycle)の取組により、ごみの減量化が進んでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 1人あたりの家庭ごみの排出量を減らすことで、ごみの減量化を進めます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
家庭ごみの排出量 (1人1日あたり)		587g	603g	587g	/	/	522g
実施計画事業		総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	ごみ減量化・資源化促進事業					環境整備課	

4年間で実現したい姿		市民・事業者・関係団体・行政がそれぞれの責務に応じた役割を担い、協働することで、環境にやさしい快適なまちづくりが進められています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 苦情件数を指標とすることで、環境の保全や改善の取組の進捗や、取組に対する市民の理解が進んでいることを測ることができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
環境全般に関する苦情件数		12件	24件	13件	/	/	10件
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 環境美化の取組によって、市民が「まちがきれい」で気持ちがいい」と実感できることが重要です。地域の環境を守ろうという意識醸成にもつながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれい」で気持ちがいい」と答えた市民の割合		69.9%	67.0%	63.7%	/	/	75.0%
実施計画事業		総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
2(1)	環境学習事業	まち				環境整備課	
2(2)	環境監視指導事業	まち	F-3①			環境整備課	
3	環境衛生・美化推進事業(環境衛生推進事業)	まち				環境整備課	
4	環境衛生・美化推進事業(地域不法投棄対策事業)	まち				環境整備課	

4年間で実現したい姿		植樹・育樹・緑化活動や森林の計画的な整備により、生物多様性や森林が持つ公益的機能が守られ、山地災害の未然防止が図られています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 森林の公益的機能を回復させるためには、計画的な森林整備を進め、適切に管理することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積			196.67ha	196.74ha	199.58ha			221.67ha
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
5(1)	ひろしまの森づくり事業	まち	G-6①			産業振興課		
5(2)	森林環境税関連森林整備事業	まち	G-6①			産業振興課		
6	治山事業	まち	G-4③、G-6①			産業振興課		

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課			
		環境整備課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
1	ごみ減量化・資源化促進事業				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関連する計画	大竹市一般廃棄物処理基本計画				
取組の方針		事業の概要			
<p>●ごみの適正な分別、ごみ出しルールへの遵守への指導とリサイクル化の取組の周知・啓発を強化します。</p> <p>●生ごみの堆肥化や資源ごみのリサイクル化、食品ロスの削減などにより、ごみの減量化を進めます。</p>		<p>○市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別や生ごみの減量化及び資源ごみのリサイクルに関する周知・啓発を行います。</p> <p>○資源回収実施団体報奨金及び生ごみ処理容器など購入補助金を交付します。</p>			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	5,772	5,332	6,955	6,510	6,510
財源内訳	国 県 費	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0
	一 般 財 源	5,772	5,332	6,955	6,510
事業指標	ごみのリサイクル率(総排出量に対する資源化した量の割合)				
目 標 値		22.2%	23.6%	25.0%	26.4%
実 績 値	21.2%	22.0%			
取 組 内 容	<p>・市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行いました。また、資源回収実施団体への報奨金及び生ごみ処理容器など購入者への補助金を交付しました。</p> <p>【資源回収団体への報償金支給件数】1,036件</p>	<p>・市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行いました。また、資源回収実施団体への報奨金及び生ごみ処理容器など購入者への補助金を交付しました。</p> <p>【資源回収団体への報償金支給件数】551件</p>	<p>・市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p>	<p>・市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p> <p>・大竹市一般廃棄物処理基本計画改定に向け、具体的な取組を決定する予定です。</p>	<p>・市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p> <p>・令和6年度に改定する計画内容を踏まえ、決定した取組を実施します。</p>

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課				
		環境整備課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
2(1)	環境学習事業					
根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律					
関連する計画	第2次大竹市環境基本計画					
取組の方針		事業の概要				
<p>●市の環境の現状や、事業所の環境保全の取組を積極的に周知し、正しい理解を促します。</p> <p>●「第2次大竹市環境基本計画」に基づき、総合的・計画的な環境保全活動を進めます。</p>		<p>○環境学習、環境教育を通じて、市民に市の自然の現状を把握してもらうことで、自然の大切さを理解してもらい、環境保全に関する意識を高め、市民と共に環境保全活動を行います。</p>				
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	75	5,227	5,630	2,430	2,430	
財源内訳	国 県 費	0	187	500	500	0
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	4,952	5,000	0	0
	一 般 財 源	75	88	130	1,930	2,430
事業指標	環境学習会の参加者数(延数)					
目標値		1,200人	400人	200人	200人	
実績値	0人	133人				
取組内容	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため上記を全て中止しました。</p> <p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■海ごみ回収及び磯の生き物観察会 ■水辺の生き物マップ ■「COOL CHOICE×SDGs」学習教材作成 ■出前講座 ■デジタル教材作成 <p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■川の生き物観察会 ■小瀬川干潟観察会 ■小学校への出前講座など ■二酸化炭素排出抑制啓発事業「COOL CHOICE」 ■出前講座 <p>・次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■川の生き物観察会 ■小瀬川干潟観察会 ■小学校への出前講座など ■二酸化炭素排出抑制啓発事業「COOL CHOICE」 ■出前講座 <p>※令和3年度までの実績を踏まえて、目標値を下方修正しました。【400人⇒200人】</p>					

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課			
		環境整備課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
2(2)	環境監視指導事業				
根拠法令等	環境基本法				
関連する計画	第2次大竹市環境基本計画				
取組の方針		事業の概要			
●市の環境の現状や、事業所の環境保全の取組を積極的に周知し、正しい理解を促します。		○市内の大気・水質・臭気・騒音・振動などを定期的に計測し、環境基準を満たしているかを監視し、指導を行います。			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	7,312	9,217	12,410	12,929	12,929
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,312	9,217	12,410	12,929
事業指標	温室効果ガス排出量(市の業務に関連した二酸化炭素などの排出量、工業用水の送水分を除く)				
目標値		5,228t	未定	未定	未定
実績値	3,502t	3,496t			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことを行いました。 ■太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 ■省エネ施設・省エネ設備などの改善 ■グリーン購入の推進 ■電気使用量などの削減 ■水使用量の削減 ■公用車の使用(エコドライブ) ■省資源・リサイクル ■職員などを対象とした研修会の開催など 	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことを行いました。 ■太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 ■省エネ施設・省エネ設備などの改善 ■グリーン購入の推進 ■電気使用量などの削減 ■水使用量の削減 ■公用車の使用(エコドライブ) ■省資源・リサイクル ■職員などを対象とした研修会の開催など 	<ul style="list-style-type: none"> 次のことを行います。 ■太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 ■省エネ施設・省エネ設備などの改善 ■グリーン購入の推進 ■電気使用量などの削減 ■水使用量の削減 ■公用車の使用(エコドライブ) ■省資源・リサイクル ■職員などを対象とした研修会の開催など ■第5次大竹市地球温暖化対策実行計画を策定する予定です。 <p>※事業指標の目標値は、計画策定後に入力します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことを行います。 ■太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 ■省エネ施設・省エネ設備などの改善 ■グリーン購入の推進 ■電気使用量などの削減 ■水使用量の削減 ■公用車の使用(エコドライブ) ■省資源・リサイクル ■職員などを対象とした研修会の開催など <p>※事業指標の目標値は、第5次大竹市地球温暖化対策実行計画策定後に入力します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことを行います。 ■太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 ■省エネ施設・省エネ設備などの改善 ■グリーン購入の推進 ■電気使用量などの削減 ■水使用量の削減 ■公用車の使用(エコドライブ) ■省資源・リサイクル ■職員などを対象とした研修会の開催など <p>※事業指標の目標値は、第5次大竹市地球温暖化対策実行計画策定後に入力します。</p>

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課			
		環境整備課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
3	環境衛生・美化推進事業(環境衛生推進事業)				
根拠法令等	環境基本法				
関連する計画	第2次大竹市環境基本計画				
取組の方針		事業の概要			
●市民・環境美化関係団体に「花いっぱい運動」への参加を促します。		○自治会や老人クラブなどの参加により、市内全域において清掃活動(おおたけクリーンキャンペーン)を行います。 ○市内の任意の団体を募り、花苗と肥料を無料配付し、沿道などの公共的な場所に市民花壇を設置する「花いっぱい運動」を行います。			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	2,711	2,804	5,564	5,656	5,656
財源内訳	国 県 費	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0
	一 般 財 源	2,711	2,804	5,564	5,656
事業指標	市民花壇の設置箇所数(市民や市民団体などが管理する花壇の数)(累計)				
目 標 値		55箇所	55箇所	55箇所	55箇所
実 績 値	52箇所	52箇所			
取 組 内 容	・「花いっぱい運動」を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おおたけクリーンキャンペーン」は中止しましたが、自主的に地区清掃を行った自治会には、大竹市公衆衛生推進協議会から助成金を交付しました。	・「花いっぱい運動」を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おおたけクリーンキャンペーン」は中止しましたが、自主的に地区清掃を行った自治会には、大竹市公衆衛生推進協議会から助成金を交付しました。	・「花いっぱい運動」を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おおたけクリーンキャンペーン」は中止しましたが、自主的に地区清掃を行った自治会には、大竹市公衆衛生推進協議会から助成金を交付しました。	・「おおたけクリーンキャンペーン」及び「花いっぱい運動」を実施します。	・令和5年度の取組を継続します。

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課				
		環境整備課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
5	環境衛生・美化推進事業(地域不法投棄対策事業)					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
関連する計画	第2次大竹市環境基本計画					
取組の方針		事業の概要				
<p>●市民・関係団体・事業者・市の協働により、不法投棄の防止や早期発見、早期対応などに取り組みます。</p> <p>●公衆衛生推進協議会などの環境美化・公衆衛生活動に取り組む団体や自治会などを支援します。</p>		<p>○大竹市公衆衛生推進協議会と連携し、不法投棄監視パトロール及び不法投棄防止啓発看板・幟の設置・配付などを行います。</p>				
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	8,858	7,893	8,774	11,536	10,338	
財源内訳	国 県 費	5,479	4,818	4,881	6,522	5,879
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
	一 般 財 源	3,379	3,075	3,893	5,014	4,459
事業指標	年間不法投棄箇所数					
目 標 値		30箇所	30箇所以下	30箇所以下	30箇所以下	
実 績 値	31箇所	34箇所				
取 組 内 容	<p>・不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施しました。</p> <p>・不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施しました。また、不法投棄の多発箇所に監視カメラを設置しました。</p> <p>・不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施しました。</p> <p>・不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施します。</p> <p>・海岸漂着物等地域対策推進事業(県補助)として、阿多田島海岸漂着物の運搬・処理を実施します。</p>					

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課				
		産業振興課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
5(1)	ひろしまの森づくり事業					
根拠法令等	—					
関連する計画	第3期ひろしまの森づくり事業に関する推進方針					
取組の方針		事業の概要				
<p>●森林や里山に関する情報発信やイベントの開催などを通じて、多くの人が山や森づくりに関心を持つように働きかけます。</p> <p>●森林所有者に森林の公益的機能を十分に理解してもらい、森林を整備していきます。</p>		<p>○県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、人工林や天然林整備のほか、森林に親しみをもってもらうような取組を行います。</p>				
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	5,432	6,069	6,186	7,341	7,369	
財源内訳	国県費	5,432	6,069	6,186	6,841	7,369
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	500	0
事業指標	ひろしま森づくり事業で整備した面積(累計)					
目標値		99.46ha	101.46ha	103.46ha	105.46ha	
実績値	97.46ha	100.30ha				
取組内容	<p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■里山林整備 ■人工林間伐支援 <p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■里山林整備 ■人工林間伐支援 <p>・次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■里山林整備 ■人工林間伐支援 ■里山保全活動支援 <p>・次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■里山林整備 ■人工林間伐支援 ■林業体験活動支援 ■里山保全活動支援 <p>・令和5年度の取組を継続します。</p>					

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課			
		産業振興課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
5(2)	森林環境税関連森林整備事業				
根拠法令等	森林経営管理法、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律				
関連する計画	新たな森林経営管理制度に関する取組の基本方針				
取組の方針			事業の概要		
<p>●森林や里山に関する情報発信やイベントの開催などを通じて、多くの人が山や森づくりに関心を持つように働きかけます。</p> <p>●森林所有者に森林の公益的機能を十分に理解してもらい、森林を整備していきます。</p>			<p>○森林経営管理法に基づき、人工林を適切に管理するため、人工林調査を行い、管理ができない所有者がいる場合は、市が所有者に代わって管理を行います。</p>		
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	3,969	3,922	5,136	7,467	6,302
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1
	一般財源	3,968	3,921	5,135	7,466
事業指標	森林環境税関連森林整備事業で整備した面積(累計)				
目標値		0ha	1.7ha	2.7ha	3.7ha
実績値	0ha	0ha			
取組内容	<p>次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■森林調査 ■意向調査 	<p>次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■森林調査 ■意向調査 	<p>次のことを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■所有者調査 ■集積計画策定 	<p>次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■所有者調査 ■意向調査 ■集積計画策定 ■森林整備 	<p>令和5年度の取組を継続します。</p>

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

		担当課			
		産業振興課			
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化		
6	治山事業				
根拠法令等		森林法、地すべり等防止法			
関連する計画		—			
取組の方針		事業の概要			
●山地災害の未然防止のため、治山事業の実施を国や県に継続的に要望します。		○山地災害の未然防止を行うため、市内保安林のうち、市民からの要望箇所について、国や県に要望します。			
(単位：千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	0	0	0	0	0
財源内訳	国費	0	0	0	0
	県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
事業指標	治山事業で整備した面積				
目標値		22.42ha	24.42ha	24.42ha	24.42ha
実績値	0.07ha	0ha			
取組内容	・国や県への要望を行いました。	・国や県への要望を行いました。	・国や県への要望を行いました。	・令和4年度 の 取組を継続します。	・令和5年度 の 取組を継続します。

【3-9 生活環境に配慮した墓地の管理】

4年間で実現したい姿		周辺環境に配慮した、適切な市営墓地の管理が行われています。						
KPI (重要業績評価指標)		【KPIの考え方】 墓地の管理が適切に行われると、誰もが気持ちよく利用することができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
管理が適切でない墓地 区画数			0区画	0区画	0区画			0区画
実施計画事業			総合戦略	国土強靱化地域計画			担当課	
1	市営墓地維持管理事業		A-1②、B-4①、C-2①			環境整備課		

【3-9 生活環境に配慮した墓地の管理】

		担当課				
		環境整備課				
No.	事業名	総合戦略	国土強靱化			
1	市営墓地維持管理事業					
根拠法令等		—				
関連する計画		—				
取組の方針		事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ●旧白石墓地からの白石墓苑への墓石移転完了後、空き区画を一般分譲します。 ●適切な管理が行われていない区画の利用者への指導などを含め、墓苑全体を適切に維持管理します。 		<ul style="list-style-type: none"> ○市内に5箇所ある市営墓地使用者が不明とならないよう、また、墓地使用者間で苦情が出ないように適切に管理します。 ○白石墓苑の空き区画を公募します。 				
(単位：千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		523	2,732	4,763	3,997	3,033
財源内訳	国 県 費	0	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
	一 般 財 源	523	2,732	4,763	3,997	3,033
事業指標		永代使用率(区画充足率)				
目 標 値			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実 績 値		89.50%	86.92%			
取 組 内 容		<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地の維持管理を適切に行いました。 ・利用者に墓地の適切な管理を促しました。 ・既存墓地の所在、管理の運営形態などについて、台帳の整理を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地の維持管理を適切に行いました。 ・利用者に墓地の適切な管理を促しました。 ・未売の墓地の永代使用料を見直しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地の維持管理を適切に行います。 ・利用者に墓地の適切な管理を促します。 ・白石墓苑の空き区画を整備し、売却する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地の維持管理を適切に行います。 ・利用者に墓地の適切な管理を促します。 ・白石墓苑の空き区画を公募する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度を取組を継続します。

■「生活・環境」に関するSDGs指標一覧

施策	SDGs指標	実績値	データ時点・データ元
施策3-1 快適で魅力的な 都市空間の創造	 1年間の人口増減(((出生数 －死亡数)+(転入数－転出 数)+(その他増－その他 減))/総人口)	△1.04%	令和4年1月1日 「住民基本台帳に基づく人口、人口 動態及び世帯数」
	 市街化調整区域内人口割合 (市街化調整区域内人口/総 人口)	1%	令和2年3月31日 「都市計画現況調査」
施策3-3 生活を支える公 共交通の充実	 最寄りの交通機関までの距 離が〇m以下となる普通世 帯数 (駅まで200m以内)	130世帯	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
	 (駅まで200～500m以内)	1,340世帯	
	 (駅まで500～1,000m以内)	2,420世帯	
	 (駅まで1,000～2,000m以内)	4,770世帯	
	 (駅まで2,000m以上)	2,660世帯	
施策3-5 住みよさと安心 を生む住宅政策	 最低居住面積水準以下世帯 割合(最低居住面積水準以下 世帯数/主世帯数)	92.7%	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
	 空き家率(空き家数/総住宅 数)	17.4%	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
施策3-6 楽しさと憩いを 提供する公園・緑 地の整備	 人口1人当たりの公園面積 (公園面積/総人口)	11.0m²	令和2年10月1日 「公共施設状況調経年比較表」/「国 勢調査」
施策3-7 暮らしを支える 上下水道の整備	 上水道普及率(上水道給水人 口/総人口)	98.4%	令和3年4月1日～令和4年3月31日 「水道の基本統計」
	 下水道処理人口普及率	95.6%	令和4年3月31日 「下水道の普及状況」

施 策	SDGs指標		実績値	データ時点・データ元
施策3-8 環境にやさしい 持続可能なまち づくり		「家庭ごみの排出量(1人1日あたり)」	587g/人日	令和3年4月1日～令和4年3月31日 「清掃事業の概要(令和4年度版)」
		廃棄物の最終処分割合(最終処分量/ごみの総排出量)	8%	令和3年4月1日～令和4年3月31日 「清掃事業の概要(令和4年度版)」
		ごみのリサイクル率	22.03%	令和3年4月1日～令和4年3月31日 「清掃事業の概要(令和4年度版)」
		市の業務における温室効果ガス排出量	3,496t	令和3年4月1日～令和4年3月31日
		森林面積割合(森林面積/総面積)	27%	令和4年1月1日 「固定資産税概要調書」